

## 第6学年 社会科 年間学習計画

### 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

(3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標
1 学期	4-5	○ わが国の政治のはたらき	<p><b>【知識及び技能】</b> 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性等】</b> 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。</p>
		<人々の生活などの写真から、人々の願いが政治の働きと結びつきがあることに気づき、政治に関わりのありそうな法やきまりを思い出し、憲法や政治学習への意欲を高める。>	
	5	・日本国憲法と政治のしくみ	
		<地域の政治に関わりそうな事例と市の人の話から、国や地方公共団体の政治は、日本国憲法にもとづくものであることに気づき、日本国憲法と政治が自分たちのくらしとどのようにつながっているのかについて調べる。>	
	5-6	○ わたしたちの願いと政治のはたらき	
		<年齢別人口などのグラフ資料から、学童保育の不足や待機児童の増加などの原因となる社会的な課題を調べ、待機児童などの問題以外にも、子どもを持つ家庭にはどのような悩みや願いがあるのかについて調べる。>	
		○ 日本のあゆみ	
		<我が国の歴史は、様々な人物が活躍したり、出来事が起こったりして変化してきたことを、大阪府堺市に残る遺跡や文化財について調べる活動を通じて気づき、歴史の学習への関心を持つとともに、歴史を学習するときに必要な学び方・調べ方について理解する。>	
	6-7	・大昔のくらしとくにの統一	
		<縄文時代と弥生時代の様子を描いた想像図の比較を通して、自分たちの生活とくらしと比べながら、大昔の人々の生活の様子に興味・関心をもち、国が統一されていく時代の社会の変化や様子について理解する。>	
・天皇を中心とした政治			
7	<古墳時代の建造物と比較することを通して、聖徳太子がおこなった政治に関心を持ち、聖徳太子がおこなった国づくりの様子について理解する。>		
	・貴族が生み出した新しい文化		
9	<藤原道長の政策及び平安時代の貴族のくらしぶりを理解するとともに、平安時代の文化の発展した背景・様子など、貴族が生み出した文化について理解する。>		
	・武士による政治のはじまり		
	<武士のくらしと貴族のくらしを比べる活動を通して、貴族にかわって武士が国の政治をつかさどるようになったことを学ぶとともに、当時の社会の様子や人々の生活の移り変わりについても理解する。>		
		・今に伝わる室町の文化と人々のくらし	
		<朝廷があり、幕府が置かれた京都の様子と、現在、京都市に残る室町時代につくられた建造物について調べ、室町時代の文化の特色や現在のくらしとの関わりについて理解する。>	

2 学 期	10	<p>・戦国の世の統一</p> <p>&lt;織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の人物調べを通して、信長の天下統一の進め方や、秀吉が政策を通して戦国の世を終わらせたこと、家康の幕府による全国支配、目指した政治などを理解する。&gt;</p> <p>・武士による政治の安定</p> <p>&lt;大名配置・参勤交代・武家諸法度などについて調べることを通して、幕府が大名支配を強めていったことを理解する。さらに、幕藩体制の中、支配体制を維持・強化していくために身分の固定化を図ったことを知る。また、鎖国政策やそのもとの外国との交流の様子などを理解する。&gt;</p>
	11	<p>・江戸の社会と文化・学問</p> <p>&lt;江戸時代の産業や百姓・町人のくらしの変化について調べることを通して、産業・交易の発展や、町人文化が栄えたことについて学習する。また、儒学や国学、蘭学、寺子屋について、それらが社会に果たした役割・影響について理解する。&gt;</p> <p>・明治の新しい国づくり</p> <p>&lt;江戸時代と明治時代のまちの様子を比較することを通して、人々のくらしが欧米の文化や制度を取り入れたことで大きく変化したことを理解するとともに、新しい国づくりがどのように進められたかについて学習する。&gt;</p>
	12	<p>・国力の充実をめざす日本と国際社会</p> <p>&lt;明治維新の後、新しい国づくりをした日本の動きについて自由民権運動・大日本帝国憲法制定、近代化、条約改正、日清・日露戦争などを通して理解する。&gt;</p>
3 学 期	1	<p>・アジア・太平洋に広がる戦争</p> <p>&lt;日清・日露戦争を経て、国力を高めてきた日本が、第1次世界大戦からのヨーロッパ諸国の立ち直りと関東大震災、世界恐慌の影響を受け不景気に落ちたことを理解するとともに、不景気に苦しむ日本が大陸に進出し、太平洋戦争に突入した後、戦争終結に至るまでの経緯を学習する。&gt;</p>
	1-2	<p>・新しい日本へのあゆみ</p> <p>&lt;戦争によって破壊されたまちの様子や、戦後の人々のくらしの様子を調べ、戦後の住むところに苦労したり、食べるものが少なかったりした時代から現在のような豊かなくらしができるようになるには、どのような苦労があったのかを考える。日本国憲法制定、サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約を通して国際復帰を果たしたことを理解するとともに、日本の経済成長の様子と、国際社会における日本の役割について知る。&gt;</p> <p>○世界のなかの日本とわたしたち</p> <p>&lt;海外で活動する日本人の姿から、世界の国に目を向け、日本とつながりや国際交流について興味を持ち調べてみたいという思いを持つ。&gt;</p>
	2	<p>・日本とつながりの深い国々</p> <p>&lt;アメリカ・中国・ブラジル・大韓民国と日本とのつながり、子どもの学校の様子、人々のくらしの様子について調べ、生活や文化・習慣について理解する。また、国際的なスポーツや文化交流の様子を知るとともに、日本が文化発信を通して、世界中の国々が相互理解を図り、平和な世界を実現しようと取り組んでいることを理解する。&gt;</p>
	3	<p>・世界がかかえる問題と日本の役割</p> <p>&lt;国連憲章を調べることを通して、国際連合がどのような目的でつくられ、どのようなはたらきをしているのかを考えまとめる。国連やユネスコ、ユニセフの活動を調べるとともに持続可能な開発のためには国連が中心となり、各国やNGO、市民が協力して取り組むことが大切であることを理解する。また、様々な分野で日本が国際協力に参加していること知る。さらに、SDGsをもとに、これから世界の人々と共に生きていくために自分たちに何ができるかについて、考えをまとめる。&gt;</p>